

はじめに

平素は、支部(施設等)の皆様方のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会(以下、「大阪生活サポート協会」という。)は、知的障がい児者・自閉症児者、家族のくらしを支援する事業を実施しています。

事業の一つである「支部活動等助成事業」は、平成20年4月にスタートした「大阪生活サポート協会」の最初に取り組んだ事業であります。回を重ねるごとに、各支部(施設等)の皆様方への認知度が高まり、多くのご応募をいただくことになってきました。

会員(当協会の趣旨にご賛同いただき、入会された方々)並びにご家族の安心・安全なくらしの実現のために、各種の事業と生活サポート総合補償制度(AIG 普通傷害保険)を更に充実させたいと考えています。

事業の一部をご紹介します。

■権利擁護に係る事業

最近、大阪の施設等で暮らす利用者の方の痛ましい事件が報道されました。「①支援者の不適切な支援により、入院そして死亡に至った事例、②入浴の際に熱湯を浴びやけどを負いその後死亡した事例、③深夜帯での障害者支援施設における死亡事例」です。

事故(虐待も含む)等に対する危機管理については、より質の高いサービスの提供があらゆる事故を回避する一歩であるとして認識しています。

現状の各施設等においては、支援者の確保・定着が困難であり、コアとなる支援者の育成にまで至らない状況にあると思われまふ。しかし、いかなる理由があろうとも、我々関係者は一人ひとりの安心・安全なくらしの確保に努めなければなりません。当協会といたしましては、当該施設等への可能な支援は惜しみなく協力したいと考えています。

当協会として、取り組むべき事業の一つとして、以下の項目を考えています。これらを考慮した助成事業を各支部から提案していただけたらと願います。

- 対人援助サービスの質の向上～各施設等の個別性に対応できる研修の在り方について
- 各ブロックごとのネットワークの構築～連携・協働、情報交換
- 当事者の意見表明の機会の設定～当事者の集い

(年1回「集まれグループホーム」を実施している。)

■表現活動の支援(会員の参加)

ホームページを平成29年度に開設、拡充を目指し努力しているところであります。参考となる情報提供や平成28・29年度実施した助成事業の紹介など、適宜更新しています。平成30年度の新たな取り組みとして、会員(当事者)から作品募集を行い、作品展示コーナーに作品の掲載を行い、「表現の場」を提供します。

今年度(平成30年)12月6日に、大阪市内のホテルで開催する当協会の「10周年記念式典」の場で、数点の作品を選び表彰することにしてあります。

■アンケート調査の実施

今年度の事業として、会員(ご家族)及び各支部(施設等)対象にアンケート調査を実施します。実態及びニーズの把握を行い、新たな事業に取り組む所存であります。

会員の皆様をはじめ、ご家族、支部(施設等)の皆様方と共に歩みをすすめたいと願っています。何卒ご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成30年6月吉日

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会
理事長 安本 伊佐子

目 次

はじめに

I 支部活動報告

| | | | |
|----|----------------------------|--------------------------------|----|
| 1 | (社福) 今川学園 | ワークセンターいまがわ | 1 |
| 2 | (社福) 大阪手をつなぐ育成会 | 支援センターい〜な 箕面育成園 | 1 |
| 3 | (社福) 堺あすなろ会 | ピュアあすなろ | 2 |
| 4 | (社福) 草の根共生会 | さくらんぼ | 3 |
| 5 | (社福) 大阪府障害者福祉事業団 | 障害者支援施設こんごう | 4 |
| 6 | (社福) 水仙福祉会 | ワークセンター豊新 | 6 |
| 7 | (社福) 青山会 | 第二東福 | 7 |
| 8 | (社福) 水仙福祉会 | 淡路こども園 | 8 |
| 9 | (社福) おれんじ会 | クッキー工房 おれんじはうす | 9 |
| 10 | (社福) 北摂杉の子会 | 萩の杜 | 9 |
| 11 | (社福) 虹のかけはし (社福) あさひ福祉会 | 八尾市立障害者総合福祉センター ライフサポートおいばら | 10 |
| 12 | (社福) 育 夢 | 糸をかし | 11 |
| 13 | (社福) 熊取ひまわり福祉会 | 熊取ひまわりの里 | 12 |
| 14 | (社福) いずみ野福祉会 | 泉南作業所 | 13 |
| 15 | (NPO) だんでらいおん | こんふおーと | 14 |
| 16 | (社福) いわき学園 | 住之江木の実園 | 15 |
| 17 | (社福) 大阪手をつなぐ育成会 | 支援センターさくら | 16 |

| | | | |
|----|------------------|-------------|----|
| 18 | (社福) 四幸舎和会 | おおざとの赤いやね | 16 |
| 19 | (一社) まめの木 | まめの木共同作業所 | 18 |
| 20 | (社福) 産経新聞厚生文化事業団 | 第2三恵園 | 18 |
| 21 | (社福) 草の根共生会 | 蓮(れん) | 19 |
| 22 | (社福) サライ福祉会 | (社福) サライ福祉会 | 20 |
| 23 | (社福) 障友会 | わららか草部 | 21 |
| 24 | (株) 美之倉 | やすらぎの苑中津 | 22 |
| 25 | (社福) いわき学園 | いわき生野学園 | 23 |
| 26 | (社福) 八尾すずらん福祉会 | ワーク・すずらん | 24 |
| 27 | (株) 恵み | 輪くる | 25 |
| 28 | (社福) なにわの里 | ライフサポートなにわ | 25 |
| 29 | (NPO) アース | アース作業所 | 26 |
| 30 | (社福) いわき学園 | ティンカーベルファクト | 27 |
| 31 | (社福) 北摂杉の子会 | ジョブサイトよど | 28 |
| 32 | (社福) 大阪府障害者福祉事業団 | じょぶライフだいせん | 29 |
| 33 | (社福) いずみ野福祉会 | 第三岸和田作業所 | 30 |
| 34 | (社福) 大阪福祉事業財団 | 豊里学園 | 31 |
| 35 | (社福) マイウェイ福祉の会 | 草笛の家 | 32 |
| 36 | (NPO) 百舌鳥あすなる会 | あすなる授産所 | 33 |

II 平成29年度支部活動等助成事業実施要項・実施支部一覧、リーフレット

平成29年度支部活動等助成支部事業報告

(各支部報告は原文のまま記載)

I 支部活動報告

1 支部名： ワークセンターいまがわ

- ① 実施日： 平成29年8月5日(土)
- ② 実施場所： 矢田六公園周辺
- ③ 対象者： 利用者8名、職員7名 計15名
- ④ 実施概要： 「第14回ふれあい夏まつり」への参加と自主製品の販売
- ⑤ 成果： 自分たちが作成した商品を売る経験を通して、その喜びを味わい、日頃の仕事への意欲へとつなげる。販売するという仕事や楽しみの理解へとつなげることを目的に実施。地域のまつりに参加することで交流を深め、施設活動や障がいのある方への理解を進めていく取り組みとして参加した。

当日は、利用者と一緒に会場設営や販売を行い、来場者との交流も図れた。また、過去最高の自主製品の売上額となり、利用者にも達成感を感じてもらうことができた。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|--------|-----|--------|
| 助成金 | 50,000 | 備品代 | 28,648 |
| 自己資金 | 20,856 | 材料費 | 36,046 |
| | | 飲食代 | 6,162 |
| 計 | 70,856 | 計 | 70,856 |

2 支部名： 支援センターい〜な・箕面育成園

- ① 実施日： 平成29年8月23日(水)
- ② 実施場所： 箕面育成園館内及び玄関前
- ③ 対象者： 利用者、退所者、家族、ボランティア、活動講師、退職職員
- ④ 実施概要： 「箕面育成園〜ファイナル・イベント」の開催
- ⑤ 成果： 知的障がい者の入所支援施設から平成30年度からグループホームに事業移行することになりました。9月より大規模な改修工事が行われるため、例年8月に夏祭りとして実施していたイベントを、慣れ親しんだ生活環境に別れを告げ、新た

な楽しい気分で新生活を迎えていただくために「箕面育成園ファイナル・イベント」として、工事着工前に実施することになりました。当日は、利用者による壁面ペイントアート、音楽療法プログラム参加者による楽器演奏、開所当時のビデオを鑑賞し、昔のエピソードにちなんだクイズ大会、バーベキュー・花火大会を行いました。

楽しい思い出を増やせたことで、入所施設からグループホームへの改装工事後の新生活を明るく期待をもって迎えられようとしているように感じました。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|---------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 祭はっぴ | 3,240 |
| 自己資金 | 4,333 | 祭提灯レンタル代 | 25,920 |
| | | 花火代 | 10,000 |
| | | バーベキュー機材レンタル台 | 15,552 |
| | | バーベキュー食材代 | 49,621 |
| 計 | 104,333 | 計 | 104,333 |

3 支部名： ピュアあすなろ

① 実施日： 平成29年8月25日(土)

② 実施場所： ピュアあすなろ

③ 対象者： 利用者、家族、地域住民、ボランティア

④ 実施概要： 「納涼祭」の実施

⑤ 成果： 毎年恒例の納涼祭を施設敷地内で実施しました。当日はご利用者・ご家族および地域の方々に、多数参加していただきました。

露店や盆踊りを楽しみ、とても良いイベントとなりました。これからも地域とのつながりや交流を深めていきたいと思ひます。



⑥ 収支報告：

| <収入> | | <支出> | | (円) |
|------|---------|----------------|---------|-----|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | |
| 助成金 | 100,000 | 贈呈品 | 6,851 | |
| 自己資金 | 150,437 | 花火代・食材備品費 | 11,439 | |
| | | 法被代 | 12,852 | |
| | | ボランティア保険代 | 600 | |
| | | 飲料代 | 29,397 | |
| | | 盆踊り CD,菓子代、景品代 | 17,198 | |
| | | 露店代（業者に依頼） | 130,100 | |
| | | ボランティア謝礼 | 42,000 | |
| 計 | 250,437 | 計 | 250,437 | |

4 支部名： さくらんぼ

- ① 実施日： 平成 29 年 9 月 21 日（木）～22 日（金）
- ② 実施場所： 姫路方面
- ③ 対象者： 利用者・スタッフ 計 25 名
- ④ 実施概要： 1泊2日の姫路旅行の実施。1日目：姫路セントラルパーク
2日目：日本玩具博物館・魚の棚商店街
- ⑤ 成果： 利用者が中心となり行先や内容について企画しました。姫路セントラルパークでは、事前に希望のチーム別の行動をとり、動物を見たり、遊園地で楽しむなど利用者の方の笑顔がたくさん見ることが出来ました。自分たちで計画した通りに楽しむことができ、利用者も充実感を持てたようです。夕食は宴会場にてカラオケをしながら大いに楽しまれたようです。2日目は、日本玩具博物館を観覧し、世界の色々な面白いおもちゃを見学しました。また、車窓から姫路城を見学し、皆さん写真などでよく見る風景に見とれていました。

その後は、魚の棚商店街を観光し、それぞれのお土産を買い、名物の明石焼きを食べました。助成により費用負担の軽減も図ることができ、利用者も企画に加わっての今回の旅行は、予定通り終えることができ、たくさんの笑顔を見ることができ、成功することが出来ました。



⑥ 収支報告：

<収入> (円) <支出>

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|---------|---------|
| 助成金 | 50,000 | 中型バス料金 | 159,840 |
| 自己資金 | 424,440 | 宿泊料金 | 273,750 |
| | | カラオケ代金 | 12,960 |
| | | 乗務員宿泊料金 | 8,790 |
| | | 高速料金 | 12,200 |
| | | 企画料 | 6,991 |
| | | 旅行保険 | 300 |
| 計 | 474,440 | 計 | 474,440 |

5-1 支部名： 障害者支援施設 こんごう

- ① 実施日： 平成 29 年 9 月 16 日（土）
- ② 実施場所： こんごう施設内（作業室 1, 2、食堂など）
- ③ 対象者： 施設入所者 51 名、生活介護事業通所利用者 20 名、利用者家族、地域一般 50 名、ボランティアサークル阪大フロンティア 87 名、施設職員 39 名 計 247 名
- ④ 実施概要： こんごうまつりの企画・実施とボランティアの受け入れ
 舞台（演劇・ダンスなど利用者、ボランティアの出演による）
 模擬店（やきそば・かき氷、チョコバナナなど）
 ゲーム（ボーリング、宝ひき）
- ⑤ 成果： 当日は台風接近で雨天となるが、施設内を使用し、模擬店や舞台を楽しんでいただいた。平成 28 年 4 月開所時よりご利用いただいていた短期入所利用者など、地域の方に施設の行事に参加いただいた。施設利用者は平均年齢 60 歳という高齢期の方が多く、歩行や食事に際して見守りや支援が必要なため、ボランティア 87 名の内、半数は利用者の個別の付添い役として職員と共に祭りを楽しみ、残りは模擬店の運営や舞台の進行、演劇披露、レクリエーションの提供などを担当した。ご家族の参加される利用者もあるが少数であり、職員だけでは十分な個別支援ができないところを補い、加えて家族に代わる自分だけの同行者であり利用者の満足度は高い。模擬店も多くの種類を用意し、障がい者でも楽しめるよう利用者のペースや身体機能に配慮したボランティアのサポートがあり、誰でも楽しめるゲームを提供できた。

5-2 支部名： 障害者支援施設 こんごう

- ① 実施日： 平成 29 年 9 月 16 日（土）
- ② 実施場所： こんごう施設内
- ③ 対象者： ボランティアサークル阪大フロンティア
- ④ 実施概要： ボランティアの学習会の支援
- ⑤ 成果： ボランティア活動を通しての利用者とのふれあいや交流だけでなく、社

会福祉の制度や現状、障がい児者の理解、働く職員の意識などにも関心が高いため、以前から職員との交流会や学習会を同時に開催してきた。

今回は、6グループに分けて職員と意見交換の場を持った。話し合いのテーマはグループにより異なるが、以下の話題がでていた。

- ・職員が障がい者支援施設で働くきっかけ
- ・利用者に関わるうえで困難と思うこと、楽しいと思うこと
- ・利用者支援で気をつけていること
- ・こんごうまつりで提供した活動の評価・・・利用者が楽しめたかどうか、課題点は？
- ・府立施設から民営化してからの変化は？

学生からの色々な質問に答える形式で話をするが、障がい児者に関する理解を深められ、さらに福祉の変遷や現状、職員の職場環境や意識、ボランティアに期待することなどについて説明している。

対応する職員は、新任職員とベテラン職員を組み合わせ、お互いに学ぶことができる場となっている。

5-3 支部名： 障害者支援施設 こんごう

- ① 実施日： 平成29年9月15日（金）～18日（月）
- ② 実施場所： こんごう福祉センター
- ③ 対象者： ボランティアサークル阪大フロンティア
- ④ 実施概要： ボランティアの障がい者支援施設でのワークの支援
- ⑤ 成果： こんごうまつりの企画・実施およびこんごう福祉センター内の障がい者支援施設6施設【こんごう・かつらぎ・にじょう・すくよか・金剛コロニー（すぎのき寮・しいのき寮）】、特養1施設（かなびのさと）での作業奉仕（以下、ワークと呼ぶ）について、今年度春より数回、阪大フロンティア代表者と打ち合わせを行い、準備した。ワークは、15日（金）～18日（月）3泊4日滞在、15日～16日はこんごうのまつり支援と利用者との交流、17日～18日は各施設のワークに従事した。ワークの内容はこんごうにおいて事前に各施設に要望を聞き、用具等を準備して阪大フロンティアに伝えておき、各施設にも担当する職員をおいた。ワークの内容としては、施設内の掃除・草刈、日中活動のための自立課題の制作、壁面飾り、レクリエーションの提供（うた・おどり）、花壇の制作を担った。ボランティアの支援としては、困った時のために期間中の相談窓口となる職員をこんごうにおいた。阪大生の体調不良や怪我のための通院支援等も対応した。ワーク期間中の宿泊場所は、こんごう福祉センターの金剛コロニーしいのき寮で無償で提供した。食費等は実費支払いとなるが、こんごうまつりの食費については助成金を使用し負担を求めている。加えて、15日夕食～18日昼食までの全員の食事負担額合計は、290,224円（1日：1,515円）となる。負担軽減のため、50,000円をボランティアの食事助成金としてフロンティアサークルに支給する予定である。



⑥収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|-----------|---------|-------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 模擬店食材、食器等 | 90,705 |
| 自己資金 | 72,896 | 舞台設置用品 | 16,444 |
| 公費（行事保険料） | 7,500 | 燃料代（プロパンガス） | 1,520 |
| | | 行事保険料 | 7,500 |
| | | ボランティア飲食代 | 1,730 |
| | | 宿泊設備用品 | 12,497 |
| | | ボランティア食事代補助 | 50,000 |
| 計 | 180,396 | 計 | 180,396 |

6 支部名：ワークセンター豊新

- ① 実施日：平成29年10月8日（日）
- ② 実施場所：ワークセンター豊新、多幸公園、ワークセンターガレージ
- ③ 対象者：利用者、職員、地域住民
- ④ 実施概要：「施設と地域の交流会」を開催。地域のお祭りに参加し、それに付随して施設開放し、バザーや野菜等の販売、利用者が職員と作った作品等の販売実施。
- ⑤ 成果：施設を開放し、多くの地域の方が来園してくれ施設を知ってもらい良い機会になったと共に、バザーや作品等の販売を通じて、地域住民とコミュニケーションをとることができた。

地域向けに施設開放をはじめ、4年目だが、回数を重ねることで、地域の方と顔見知りが増えたり、気楽に訪れてくれる方が増えているので、続けることと、地域との繋がりには、地域に密着した方の参加が大切だと改めて実感した取り組みである。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|--------|------------|--------|
| 助成金 | 50,000 | 容器代、養生テープ | 1,576 |
| 自己資金 | 23 | ラミネートフィルム | 7,454 |
| | | フルーツナイフ | 1,231 |
| | | 食材・調味料 | 20,683 |
| | | 絵具代 | 5,617 |
| | | 飲料代 | 10,962 |
| | | 豊新会館使用料 | 2,000 |
| | | 印刷代（チラシ作成） | 500 |
| 計 | 50,023 | 計 | 50,023 |

7 支部名： 第二東福

- ① 実施日： 平成 29 年 9 月 21 日（木）
- ② 実施場所： 鳴門・淡路島方面
- ③ 対象者： 利用者 33 名、職員 15 名 計 48 名
- ④ 実施概要： 日帰りバスツアーの実施
- ⑤ 成果： 利用者 33 名、職員 15 名の参加。全員で楽しめるイベントが出来ないか本人部会で利用者さんが意見を出し合った結果、今回の企画となりました。淡路島経由で鳴門方面へ旅行しました。普段食べることの出来ない新鮮な料理をいただき、景色を眺めたり、普段では体験することの出来ない有意義な時間を全員で共有し、過ごすことが出来ました。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-----------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 大型リフトバス | 155,000 |
| 自己資金 | 297,980 | 高速代金 | 29,500 |
| | | 昼食代（乗務員含） | 184,680 |
| | | 飲み物代 | 14,400 |
| | | 旅行取扱、保険代 | 14,400 |

| | | | |
|---|---------|---|---------|
| 計 | 397,980 | 計 | 397,980 |
|---|---------|---|---------|

8 支部名： 淡路こども園

- ① 実施日： 平成29年9月10日（日）
- ② 実施場所： 淡路こども園 施設内及び園庭
- ③ 対象者： 淡路こども園の近隣地域在住の皆さんおよび施設利用児とその家族、ならびに福祉や教育の勉強をしている学生さんや、この活動に協力して下さるボランティアの皆さん
- ④ 実施概要：「淡路こども園 ふれあい祭り」の開催。淡路こども園の施設と園庭を開放して、地域の方に施設の中に入っていただき、お祭りを楽しみながら、交流を持った。地域の方の中には、障がいのことや子育てについて不安や心配を抱えながら、相談することに慣れていない方や親戚に気になる子どもがいるけれど、直接親に聞くのはためられる等、身近に気軽に話ができる場を求めて来られた方が何人かおられた。急遽、話を伺う等して対応したが、相談につながったケースもあった。また、おまつりで出した食べ物やゲームなどのお店の運営は施設職員が学生さんや地域のボランティアの方と一緒にいき、地域の皆さんとのふれあいはもちろん、施設を利用している障がいのある子どもや家族とも直接話をしたり、関わる機会となった。それまで持っていた“暗い”“かわいそう”というイメージとは違ったという印象を持たれた方もとても多かった。
- ⑤ 成果：地域の人たちと顔の見える関係作りを目指して取り組んだ活動の1つであるが、ボランティアさんが媒介となってつながりが広がっていることを実感した。また学生さんからは、施設と地域福祉を考える足掛かりになったという感想が多く寄せられ、今回のおまつりの活動の目的である人材育成の面でも成果があった。



⑥ 収支報告：

＜収入＞ ＜支出＞ （円）

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|----------|--------|-------------|--------|
| 助成金 | 50,000 | 屋台の食材費・容器代 | 44,559 |
| 自己資金 | 33,941 | 当て物、ゲーム景品代 | 18,905 |
| ビール売上金 | 14,400 | 飲み物、アイス代 | 35,749 |
| おまつり金券売上 | 35,000 | プロパンレンタル代 | 4,860 |
| | | コピー、通信費、駐車代 | 5,568 |

| | | | |
|---|---------|-----------|---------|
| | | ボランティア謝礼金 | 20,950 |
| | | 地域お礼クッキー代 | 2,750 |
| 計 | 133,341 | 計 | 133,341 |

9 支部名：クッキー工房 おれんじはうす

- ① 実施日：平成29年10月5（木）～6日（金）
- ② 実施場所：和歌山方面
- ③ 対象者：利用者23名、職員7名、計30名
- ④ 実施概要：一泊研修旅行（南紀白浜アドベンチャーワールド）
- ⑤ 成果：毎年一回、利用者間及び利用者と職員間の交流、利用者の社会参加の為に、宿泊研修を行っています。B型の事業所として日々は仕事が忙しく、仕事の連携はありますが、同じ施設の仲間としての交流の場も作りたいたと、この事業を行いました。目的としていた利用者交流もとても良い感じに進み、皆忙しい仕事の疲れも忘れ、とても楽しんでおられました。ご助成ありがとうございました。



⑥ 収支報告：

<収入> (円) <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|--------------------|---------|
| 助成金 | 50,000 | 交通費（大型バス、高速代、駐車代） | 309,080 |
| 自己資金 | 795,670 | 宿泊費 | 328,500 |
| | | 食事代（昼食×2） | 93,600 |
| | | アドベンチャーワールド・三段壁入場料 | 82,500 |
| | | 諸費用（旅行保険・取扱料） | 19,200 |
| | | 乗務員宿泊費、食事代等 | 12,790 |
| 計 | 845,670 | | 845,670 |

10 支部名：萩の杜

- ① 実施日：平成29年10月11日（水）
- ② 実施場所：杉の子農園
- ③ 対象者：利用者、家族、職員、地域住民など 約180名
- ④ 実施概要：「第6回杉の子農園収穫祭」の実施
- ⑤ 成果：法人が所有する杉の子農園にて「収穫祭」を開催。法人施設利用者、ご

家族、職員、農園周辺地区の方々にもお声をかけ実施しました。収穫祭ということで畑作業（いんげんやネギなどの収穫）や、それらで調理した焼き芋、豚汁、焼きそばを食してもらいました。当日はお天気にも恵まれ、大いに盛り上がりました。今年で6回目となり、法人内外でお知らせをしていくことで、毎年参加者が増えています。施設の中では、閉鎖的になりやすく、このようなイベントを開催することで、より地域に開かれた組織になり得る貴重な機会だと思っています。今後も、『地域に生きる』の理念のもと、活動を実施していきたいと考えています。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 助成金 | 100,000 | レンタル物品代 | 74,358 |
| 自己資金 | 28,923 | ガスボンベ代 | 12,000 |
| 収穫祭時の野菜売上 | 10,500 | 食材料費 | 25,883 |
| | | 調味料、検食袋 | 820 |
| | | 参加者記念品 花代 | 648 |
| | | 参加者記念品 器台 | 12,500 |
| | | 収穫祭物品 | 13,214 |
| 計 | 139,423 | 計 | 139,423 |

1.1 支部名： 八尾市立障害者総合福祉センター・ライフサポートおいばら

- ① 実施日： 平成29年9月28（木）～10月6日（日）
- ② 実施場所： 八尾市文化会館プリズムホール
- ③ 対象者： 来場者 約710名
- ④ 実施概要：「ありのまま・あるがまま 3-アール・ブリュットの芽生え一展」の開催
- ⑤ 成果：ポスター200枚、チラシ5,000枚、ポストカード400枚、冊子2,000冊を製作し、駅、公共施設、商業施設、福祉施設などに広報を行い、新聞、テレビなどマスコミにも記事の掲載や告知等の依頼を事前に行った。八尾市在住、在勤の作家29名の作品展覧会を開催し、来場者は710名を数えました。本展覧会は、障がいのある人たちが人に見せるために作ったものではないもので、作品として見る人の心を揺さぶるものがあり、障がい者が自ら真摯に作品に取り組み、支援される側から発表する側として活動できる場を提供するために開催しました。 また、関連イベントとして

ギャラリートークやワークショップ、作家の活動風景をスライドショーにして映像を流したり、関連図書の閲覧コーナーを設置するなど、観覧者に楽しんでいただき当初の目的を果たすことが出来ました。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 助成金 | 200,000 | 印刷物デザイン料 | 62,000 |
| 自己資金 | 366,446 | 旅費交通費 | 4,900 |
| 八尾市助成金 | 800,000 | 資料作成費 | 162,794 |
| | | 会場使用料 | 167,900 |
| | | 展示費（設営等） | 864,000 |
| | | 通信運搬費 | 40,490 |
| | | 保険料 | 32,200 |
| | | 消耗品費 | 30,866 |
| | | 雑費 | 1,296 |
| 計 | 1,366,446 | 計 | 1,366,446 |

1.2 支部名：糸をかし

- ① 実施日：平成29年10月7日（土）
- ② 実施場所：ぬくぬく劇場（糸をかし 1階）
- ③ 対象者：利用者25名、保護者16名、職員15名、法人役員、近隣者7名 計63名
- ④ 実施概要：「施設内改修による劇場完成に伴う、イベント」の開催。
- ⑤ 成果：糸をかし（生活介護）では、「人形芝居ぬくぬく座」という人形劇団を結成し、平成29年6月に施設内に劇場が完成。今回、こけら落としとして「ひばりプロダクション」許可のもと美空ひばりさんの名曲を歌い続けておられるプロ歌手の久間勝代さんをお招きした。2回の公演で、素晴らしい歌声とショーを楽しみながら交流を深め、ぬくぬく劇場の本格的始動に花を添えていただくことができた。今後は様々な表現活動を実践されている人達との出会いを通じてぬくぬく劇場を地域交流の場として定着していきたい。また、今後も障がいのある人達の表現活動を知っていただき障がいへの理解を深めていただく機会を作っていきたい。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-----|---------|
| 助成金 | 100,000 | 出演料 | 120,000 |
| 自己資金 | 33,900 | 食事代 | 12,000 |
| | | 花代 | 1,900 |
| 計 | 133,900 | 計 | 133,900 |

1.3 支部名：熊取ひまわりの里

① 実施日：平成29年10月12日（木）

② 実施場所：京都鉄道博物館

③ 対象者：利用者25名、付き添い職員14名 計39名

④ 実施概要：「遠足行事」（京都）鉄道博物館見学。

⑤ 成果：博物館に入館後は、すぐに蒸気機関車の並ぶスケールの大きい操作場で記念撮影。その後は一階の列車展示を眼下に眺めつつ、2班に分かれての行動となり、高さのある二階食堂で昼食（注文弁当）眼下には大操車場が一望でき、平行目線の先には新幹線の走っているのが眺められた。昼食後はグループ別で施設内を見学。現物の展示車両の迫力や運転体感の出来る操作モデルでの操作を楽しみ、大型のジオラマコーナーでは、朝の始発から夜中の終電に至る、また山上から平地駅へ至る鉄道路線での列車の動きが、放送案内に沿ってミニチュア列車が走り回ること、各駅や標識の働きなどが説明され集団で楽しい一時を過ごすことができました。最後に集合して、個々に買い物を楽しみ、予定通りに施設に帰着することができた。暑からず寒からず、バスの乗車時間も一時間程度で無理のない一日の行程を、余裕を持って楽しむことが出来、利用者間の交流も図ることができ、とても意義のある一日であった。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|----------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 大型バス利用代 | 111,240 |
| 自己資金 | 103,380 | 運転手寸志 | 3,000 |
| | | 通行料・駐車場代 | 23,040 |
| | | 鉄道博物館入場料 | 23,400 |
| | | 昼食弁当代 | 42,700 |
| 計 | 203,380 | 計 | 203,380 |

14 支部名： 泉南作業所(デイセンターせんなん)

- ① 実施日： 平成29年9月7日(木)～8日(金)
- ② 実施場所： 淡路島・鳴門方面
- ③ 対象者： 利用者、支援員、ボランティア 計69名
- ④ 実施概要： 「一泊旅行・淡路島・鳴門方面」の実施。
- ⑤ 成果： 各労働グループの代表者で担当者会議を開催し、当日のバスや宴会時の司会を担うことを確認しながら準備を進めた。1日目は淡路島にある「ONOKORO 淡路島ワールドパーク」にてグループに分かれながらアトラクションなどを楽しんだ。ホテルでは温泉に入った後、お楽しみの宴会で豪華な食事と合わせて、ゲーム対決(余興)や2次会(カラオケ)を存分に楽しんだ。2日目は鳴門海峡の「うずしおクルーズ」へ。大きな船に乗って塩の香りと心地よい風を感じながら、うずしおを楽しんだ。1年に1度の旅行を通じて、家族から離れて1泊2日を過ごすことで、普段はなかなか見ることのできない利用者の様子や表情などをみることができた。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|-----------|----------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 大型貸切バス | 416,880 |
| 自己資金 | 1,531,656 | 宿泊代 | 769,920 |
| | | 飲料代 | 28,110 |
| | | 昼食代(2日分) | 167,996 |

| | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| | | 観光代金 | 108,200 |
| | | 乗務員・添乗員経費 | 56,710 |
| | | 高速・駐車場代 | 56,240 |
| | | 旅行取扱料 | 27,600 |
| 計 | 1,631,656 | 計 | 1,631,656 |

15 支部名： こんふおーと

- ① 実施日： 平成 29 年 11 月 20 日（月）
- ② 実施場所： 東住吉区民ホール
- ③ 対象者： 利用者・家族・来賓・職員 計 105 名
- ④ 実施概要： 「法人設立 12 周年記念ならびに生活介護事業所開設 10 周年記念式典」を開催。～法人設立 12 周年記念式典～理事長・来賓挨拶、表彰式、永年勤続表彰 施設長挨拶 ～生活介護事業所開設 10 周年記念式典～スライド上映（こんふおーとの歴史）、利用者 10 年在籍表彰、利用者・職員によるパフォーマンス、閉会の挨拶
- ⑤ 成果： 今回、生活介護事業所の 10 周年ということもあり、大きな会場を借りて記念式典を開催しました。スライド上映会は、「懐かしい」「みんな若い！」という声も出ていました。利用者 10 年在籍表彰として、10 年利用していただいている方々に手作りの表彰状の授与を行いました。緊張されている方もおられましたが、嬉しそうに表彰状を受け取られていました。

利用者・職員によるパフォーマンスは長期間練習を重ねてきました。また、ご家族の方々にも参加していただき、更に盛り上がりを見せたパフォーマンスとなりました。今回の式典を通して、法人の歴史を振り返るとともに今後の方向性・将来像を確認できる機会になりました。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|--------|-------------|---------|
| 助成金 | 30000 | リハーサル会場使用料 | 16,550 |
| 自己資金 | 451753 | 会場・設備使用料 | 45,910 |
| | | 飲食代 | 64,401 |
| | | 感謝状・横断幕・記念品 | 148,159 |
| | | 駐車場・その他 | 4,276 |

| | | | |
|---|---------|----------|---------|
| | | 表彰者記念品等 | 117,000 |
| | | テーブル周り小物 | 6,912 |
| | | 舞台上花代 | 20,000 |
| | | 来賓手土産 | 58,545 |
| 計 | 481,753 | 計 | 481,753 |

16 支部名： 住之江木の実園

- ① 実施日： 平成29年11月12日（日）
- ② 実施場所： 住之江区役所北グランド および住之江木の実園
- ③ 対象者： 近隣の方々、障がいのあるの方々、ボランティア他 計950名
- ④ 実施概要： 「第31回住之江木の実園まつり」の開催
- ⑤ 成果： 当園では地域に根差した施設づくりを目指しています。

地元町会やボランティア、近隣の社会福祉施設など多くの協力を得て、多彩な舞台イベントやミニ動物園、模擬店の催し等を実施しました。

当日は、雨模様となる予報も出ていましたが、天気にも恵まれ、多くの周辺地域の方々に足を運んでいただき、様々な障がいのある人々との交流を図ることが出来ました。また、障がい者に対する理解を深めてもらう機会になり、障がい者の社会参加と社会的自立に寄与することが出来ました。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|----------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | ミニ動物園派遣料 | 108,000 |
| 自己資金 | 216,058 | 会場設営・電気配線委託費 | 37,800 |
| | | 使用機材搬出・収納業務委託費 | 22,680 |
| | | ゴミ処理費 | 68,040 |
| | | ボランティアお礼物品購入費 | 33,750 |
| | | ボランティア活動保険料 | 25,930 |
| | | その他 | 19,858 |
| 計 | 316,058 | 計 | 316,058 |

17 支部名： 支援センターさくら

- ① 実施日： 平成29年11月30日（金）
- ② 実施場所： 支援センターさくら
- ③ 対象者： 職員、利用者、利用者OB、家族、関係機関、地域住民等 約310名
- ④ 実施概要： 「さくらフェスタ2017」の開催
式典、ステージパフォーマンス、模擬店、バザーの実施
- ⑤ 成果： 地域飲食店による模擬店出店、地元中学校、企業による出し物、地域障がい福祉サービス事業所によるバザー出店があり、地域との交流会の良い機会になった。約310名の来場者があり、地域住民との交流の機会として有意義であった。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|-------|---------|----------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 謝礼金 | 93,813 |
| 自己資金 | 270,512 | 消耗品・備品購入 | 37,489 |
| 模擬店売上 | 140,750 | 模擬店経費 | 157,028 |
| | | 運営費料 | 222,932 |
| 計 | 511,262 | 計 | 511,262 |

18 支部名： おおぎとの赤いやね

- ① 実施日： 第1回公開講座 平成29年 7月 1日（土）
第2回公開講座 平成29年 7月29日（土）
実践報告会 平成29年11月25日（土）
- ② 実施場所： 第1回公開講座 豊中市すこやかプラザ
第2回公開講座 豊中市すこやかプラザ
実践報告会 能勢町浄瑠璃シアター
- ③ 対象者： 第1回公開講座 37名 法人スタッフ25名 外部12名
第2回公開講座 30名 法人スタッフ24名 外部 6名
実践報告会 65名 法人スタッフ32名 外部24名
家族・後見人9名 延べ 132名参加
- ④ 実施概要： 法人スタッフはもちろん、地域や関係機関が障がいのある方のより良い支援、権利擁護、また地域貢献を目的として法人として実施、今回で4回目とな

った。今回も公開講座を2回、その公開講座に沿った実践報告を実施するという継続して学ぶという企画で実施。企画をより良いものとするため、第三者の専門分野の講師を招き、会場は参加者が参加しやすい会場確保をおこなった。

- ⑤ 成 果： 法人では担えない専門的領域からの講義やコメントをいただくため、講師を招いた。そのことにより、私たちだけの視点ではない客観的視点から講義やコメントがいただけ、より学びという面での効果が大きかったこと。また、参加しやすい会場を確保することで、より参加が促された。これらについては、助成による法人負担の軽減による効果は大きかった。内容については、アンケートや参加者から意見を直接聞くことにより次のような成果が見える。 外部事業所の方からは、「コミュニケーション支援という考え方を初めて知りました」「ひとりひとりにフォーカスが当たっており、その実践は専門性に基づいており学びになった」「意思決定支援の大切さと難しさを感じた」「支援の土台は人権であり、その人権を守るためには本人中心で話しあえる組織とその風土が必要だとわかった」「来年もぜひ参加したい」と当法人の支援についてご理解いただいたとともに、支援への学びにもなったと感じられる。また、「地域の中で各事業所の方と協力しながら、ともに支援の質を高めていきたい」というメッセージも含め理解していただけたと感じている。法人スタッフにおいても、所属する事業の報告だけでなく、他事業の報告を聞くことにより、前向きに支援を考える機会となっていると考えている。また、学生からは「大学の座学だけでは学ぶことができない内容を具体的事例や動画を通して学ぶことができ良かった」「コミュニケーションサンプルやプロンプトなど知らない用語がたくさん出てきた。もっと理解していきたいと思った」「今まで知らない施設の支援を知って学びとなった」など、障がいのある方への支援について参考になった意見が多く聞かれ、今後も学生などこのような場を通して、障がい者福祉で活躍する人材を育てるために社会福祉法人として貢献しなくてはならないと再認識した。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-------------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 講師・スーパーバイザ謝礼・交通費 | 167,000 |
| 自己資金 | 130,699 | 報告会スーパーバイザー昼食・お茶代 | 1,879 |

| | | | |
|---|---------|-----------------|---------|
| | | スーパーバイザー打合せ交通費 | 2,530 |
| | | 会場費 | 36,500 |
| | | 資料、プログラム、アンケート等 | 3,060 |
| | | スタッフ移動交通費 | 19,730 |
| 計 | 230,699 | 計 | 230,699 |

19 支部名： まめの木共同作業所

- ① 実施日： 平成29年11月25日（土）
- ② 実施場所： まめの木共同作業所内
- ③ 対象者： 利用者、家族、ボランティア、元保護者、地域の他法人、自治会代表
- ④ 実施概要： 「一周年記念祝賀会」の開催。
- ⑤ 成果： 平成28年10月1日から開所し、無事1年過ぎた。地域自治会は元より近所の他法人の方々、過去につながりのあったボランティアや元保護者の方々等、懐かしい方々に出席していただき盛会に祝うことができた。

また記念の土産は、ご厚意により寄付していただいたことでその経費を食事代に当てることができた為、好評であった。利用者も歌を披露し楽しい祝賀会ができた。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|--------|-------|--------|
| 助成金 | 50,000 | 昼食費用 | 45,500 |
| 自己資金 | 37,514 | 謝礼 | 20,000 |
| | | 丸椅子 | 11,866 |
| | | 記念品土産 | 9,500 |
| | | 雑費 | 648 |
| 計 | 85,288 | 計 | 85,288 |

20 支部名： 第2三恵園

- ① 実施日： 平成29年12月1日（金）
- ② 実施場所： 第2三恵園 食堂
- ③ 対象者： 利用者、地域ボランティア、職員 計79名
- ④ 実施概要： 「支部創立記念行事」の開催。 出張回転寿司の実施

⑤ 成 果： 本支部は、高齢知的障がい者の支援施設として運営しており、車椅子や歩行における介護等の必要性が高い利用者を多くご利用いただいている状況であり、外出等も難しく日常の食事は大きな楽しみとなっています。

今回助成を受けて実施しました回転寿司につきましては、平素の集団給食では提供できない生ものを食べていただくことができ、職人さんによる握りも楽しめることもあり、参加者全員が和やかに過ごすことができました。

また、現在の出張寿司の内容もミンチ状や刻みネタなど、高齢者向けにメニュー整備されており、外食時にはお願いしにくい内容も対応いただき、安心してお食事をとっていただけるものとなりました。費用としても、相当額を要するものですが今回、協会より助成をいただき負担も軽減された内容で実施することができました。

当日は、協会より事務局長にもお越しいたいただき参加者の皆様に協会助成の趣旨をお伝えすることもでき、大変有意義で楽しい記念行事となりました。



⑥ 収支報告：

| <収入> | | <支出> | |
|------|---------|-------------|---------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 助成金 | 80,000 | 出張回転寿司費用 | 150,580 |
| 自己資金 | 82,650 | 軟食材、飲食物等食材費 | 8,730 |
| | | 行事用食器台 | 1,624 |
| | | 振込手数料（寿司代分） | 1,716 |
| 計 | 162,650 | 計 | 162,650 |

2.1 支部名： 蓮（れん）

- ① 実施日： 平成28年11月18日（土）
- ② 実施場所： 東大阪市柏田公民館分館グランド広場
- ③ 対象者： 地域の方々、近隣児童、施設利用者、職員 約130参加。
- ④ 実施概要： 「第四回 草の根まつり（地域交流会）」の開催。

地域の方々と交流、親睦を図り、当施設、当利用者、障がい理解を目的にしております。今年も学生コーラス、社会人団体の吹奏楽、大道芸人（ジャグリング）、当利用者によるフラダンスの催し物、また小学生でも買い求めやすい安価（50円）な模擬店で、地域の皆様をお迎えいたしました。模擬店のお手伝いに校区の中学校の生徒さんが、参加、たません販売をしていただきました。あいにく当日は朝から雨であったた

め、客足は遅く不安でスタートしましたが雨が止み始めると同時に、町会の方々がちびっこを連れ立ってお越しくださいました。その後もテントをお借りしていた小学校の先生方も気にかけて覗きに來られ、それにつられるように子どもたちが増え始めました。また中学生のお友達もたくさんみえて、追加で買い出しに走るほどでした。

模擬店販売の利用者も忙しく、何気に楽しげに接客されているのが印象的でした。結果として、地域の皆様の心遣いで、にぎやかに終えることができました。

- ⑤ 成 果： 町会、公民館会関係者、学校関係者の方々とは、日頃よりお付き合いさせて頂いています。今回、祭りを開催するにあたって何かとご協力願ったことは、一方的にはなりますが、より関係を深めさせて頂いた気がしました。

今後も、祭り開催を続けていくことは、地域の理解はもとより、地域との繋がりを深め、支援の輪を広げるものだと意義を感じました。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|---------|---------|-------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 模擬店食材費等 | 56,085 |
| 自己資金 | 118,110 | 賃借料 (プロパン等) | 49,560 |
| 模擬店売上収入 | 28,250 | 出演費 | 50,000 |
| | | 備品 (横断幕) | 60,696 |
| | | 謝礼 (音響) | 5,000 |
| | | 消耗品費 | 13,679 |
| | | 通信費 | 11,340 |
| 計 | 246,360 | 計 | 246,360 |

2.2 支部名： (社福) サライ福祉会

- ① 実施日： 平成 29 年 1 1 月 2 3 日 (木)
- ② 実施場所： 百舌鳥夕雲児童公園
- ③ 対象者： 地域福祉事業所、関係団体、地域住民、ボランティア 約 1,000 人
- ④ 実施概要： 「第 2 3 回福祉フェスティバル」の開催
- ⑤ 成 果： 今年、このイベントを通じて、地域の活動に興味を持つきっかけになれば、との思いで、地域のお子さんや、学生のボランティアにもご協力をいただき、当

日の会場運営に携わっていただきました。

また、たくさんの企業・個人の皆様からのご寄付、助成金、景品のご提供につきましては、一番の盛り上がりを見せる抽選会の賞品、会場費、ゲストの皆さま、ボランティアさんのお礼等として、有効に活用させていただきました。

準備段階より「今年も楽しみにしているから頑張っ」と多くの方よりお声掛け頂ける地域の皆様に楽しんで頂ける恒例イベントとして定着してきましたが、今後もおごることなく、福祉職員として「安心・安全・楽しく」を柱として、地域社会において障がいという一つの 카테고리を超え、同じ地域で暮らす障がい者、高齢者、子供、その他全ての人達が分け隔てなく同じ時間や空間を共有し、関係を深め、よりよい地域社会の繋がりを作るような、そんな出会のイベントとして続けていきたいと考えています。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|----------|-----------|------------------|-----------|
| 助成金 | 50,000 | 舞台関係（設置、出演料、音響等） | 605,014 |
| 自己資金 | | 新聞折込、ポスター印刷代 | 93,000 |
| 抽選券売上 | 600,000 | ゲームコーナー・景品代 | 321,887 |
| 関係団体ブース料 | 150,000 | 警備費 | 86,832 |
| 金券販売 | 70,000 | ダスキンリース代 | 227,820 |
| 寄付協力金 | 220,000 | 金券換金 | 110,300 |
| | | 保険代 | 28,480 |
| | | 事務費 | 41,143 |
| | | | |
| 計 | 1,514,476 | 計 | 1,514,476 |

23 支部名： わららか草部

① 実施日： 平成29年11月29日（水）

② 実施場所： わららか草部

③ 対象者： 日中事業所利用者及び職員 約280名

④ 実施概要： 「わららか草部創立15周年記念 わららかまつり」を開催。

サククスバンド「SAXAS」さんによるの演奏会を午前・午後の二回

公演にて鑑賞。わららか草部の創立 15 周年を祝う。

- ⑤ 成 果： 普段は会うことの少ない法人内他事業所の利用者や職員同士が、「わら
か草部の創立 15 周年祝い」「サクソ演奏会」を通して交流を深めることができた。
演奏会では、普段聞けないサクソの音色に合わせて手拍子をしたり、演奏者の「み
んなで踊ろう！」の掛け声に合わせて、思い思いに身体を動かしたりと、目の前の演
奏にとっても盛り上がり、「また演奏に来てほしい」「来年もしたい」との声が多く聞か
れ、楽しく、思い出になるイベントを開催することができた。



- ⑥ 収支報告：

| <収入> | | <支出> | |
|------|---------|----------------|---------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 助成金 | 100,000 | 消耗品（館内装飾、看板作り） | 3,857 |
| 自己資金 | 69,954 | 消耗品（会場設営） | 747 |
| | | 謝礼金（サクソバンド演奏） | 150,350 |
| | | 花束代 | 15,000 |
| 計 | 169,954 | 計 | 169,954 |

2.4 支部名： やすらぎの苑中津

- ① 実施日： 平成 29 年 12 月 18 日（月）
- ② 実施場所： U・S・J（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）
- ③ 対象者： 利用者・職員 総数 25 人
- ④ 実施概要： 「余暇活動」の実施。 利用者の社会訓練の一環として交通機関を使い、余暇活動と就労見学としてユニバーサルスタジオ・ジャパンの見学実施。
- ⑤ 成 果： 当日は天気に恵まれ、交通機関を使うことで社会訓練の一環として目的地まで利用者さんと職員がグループごとに分かれ社会見学を行った。
また、U・S・J の中ではグループごとに行きたいところに行ってもらい、そこで働く人の仕事の様子やどんな職種があるかなど、就労見学として学んでいただきレポートに感想などを記入してもらった。今回の施設外での活動で、利用者さんと職員間との交流を深める良い機会となりました。



⑥ 収支報告：

| <収入> | | <支出> | |
|------|--------|-----------|--------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 助成金 | 50,000 | ユニバーサル入場料 | 95,000 |
| 自己資金 | 45,000 | | |
| | | | |
| 計 | 95,000 | 計 | 95,000 |

25 支部名： いわき生野学園

① 実施日： 平成29年12月16日（土）

② 実施場所： 生野区民センター

③ 対象者： 利用者、職員、地域住民 総数250名

④ 実施概要： 「第11回健康リフレ大会」の開催。（法被の新調）

高齢者、障がい者、児童、学生等多くの区民の交流の場として『健康リフレ大会』を開催。ダンスの舞台発表を実施。

⑤ 成果： 本園では文化活動にダンスを取り入れたり、年1回、大阪府障がい者芸術・文化フェスタにミュージカルで出演させていただいたりしています。今年は大阪府障がい者芸術・文化フェスタの参加申込で抽選に外れ参加できませんでしたが、ダンスクラブを中心にソーラン節の練習を取り入れ日々活動していましたので、法被が準備出来るまでは衣装を揃え、本園での8月5日の夏祭りでの舞台発表、10月29日の3施設共催の福祉祭りでの舞台発表、そして法被が初めて揃っての発表となりました。今回の生野区で開催しました年齢や障がいの有無にかかわらず区民の方々の交流の場を目的にした「第11回健康リフレ大会」の舞台発表に出演しました。

利用者の方の日頃の成果を、衣装も揃いこの区民のお祭りとして来場下さいました地域の皆さんに見ていただき、そしてたくさんの拍手をいただき、利用者の方も達成感で満ち溢れておられるようでした。今後も更に練習を重ね、来年の大阪府障がい者芸術・文化フェスタに参加できるよう努力していきたいと思います。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 法被 35 枚 | 93,800 |
| 自己資金 | 19,010 | プリント代 35 枚 | 12,250 |
| | | 版代 | 12,960 |
| 計 | 119,010 | 計 | 119,010 |

26 支部名： ワーク・すずらん

- ① 実施日： 平成 29 年 12 月 23 日 (土)
- ② 実施場所： 八尾市立桂老人福祉センター
- ③ 対象者： 利用者、職員、協力者 (地元民生委員、福祉委員等) 総数 55 名
- ④ 実施概要： 「クリスマス会&ふれあい祭」の開催。
地域ボランティア、住民との交流会。
- ⑤ 成果： 前半は、ポッチャ大会を行ってトーナメント方式により優勝チーム 3 名に賞金を授与し、宝くじに当たったよりうれしいとの感想でした。終了後、手作りの豚汁とお弁当でランチタイム、午後からは「八尾まつり家会」のゲストによる楽器演奏・相撲甚句・手品等、盛り沢山の出し物があり、最後に河内音頭で、踊る方、聞き入る方で楽しみました。終了後、桂老人福祉センターが八尾市に於いて災害発生時の要援護者の福祉避難所に指定されていることから、施設内の見学を行い防災意識を高めてもらいました。最後はビンゴゲームで楽しみ、ケーキをお土産に閉会しました。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-------------|---------|
| 助成金 | 50,000 | 謝礼 | 30,000 |
| 自己資金 | 79,700 | 昼食代（弁当・食材等） | 46,378 |
| | | 景品代 | 53322 |
| 計 | 129,700 | 計 | 129,700 |

27 支部名： 輪くる

- ① 実施日： 平成29年12月22日（金）
- ② 実施場所： ラウンドワンららぽーと和泉店
- ③ 対象者： 利用者、職員、ボランティア 総数28名
- ④ 実施概要： カラオケ・ボーリング大会の実施
- ⑤ 成果： 事前にカラオケのグループ分けをし、何を歌うかを決めたりと各々楽しまれていた。ボウリングでは別のグループに分かれ普段お互いに見ることのできない姿を見ることができ、あまり交流を持ってない方と楽しく触れ合える機会となり、有意義な活動ができた。仲間意識と団結力を高めるという当初の目的も達成することが出来ました。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|-------|--------|--------|--------|
| 助成金 | 50,000 | カラオケ代 | 17,040 |
| 自己資金 | 27,210 | 食事代 | 20,170 |
| | | ボウリング代 | 29,640 |
| カラオケ代 | | 貸靴代 | 10,360 |
| 食事代 | 77,210 | 計 | 77,210 |

28 支部名： ライフサポートなにわ

- ① 実施日： 平成29年12月29日（金）
- ② 実施場所： 障がい者支援施設 ライフサポートなにわ
- ③ 対象者： 成人利用者52名、療育児童4名、家族・後見人45名

職員 39名 ボランティア 2名 総数 142名

- ④ 実施概要： 利用者・家族・職員交流芋煮大会の実施。
- ⑤ 成 果： 実施内容としては、参加者で協力して大鍋で芋煮を作って振る舞う、バンド演奏、綿菓子づくりコーナーで一緒に綿菓子づくり、軽食（寿司）の提供を行った。普段なかなか交流の時間が取れない利用者家族と職員との交流を行い親睦を深めることができた。ケース担当者が担当利用者以外の家族と交流できたことや、なかなか会う機会のない家族同士の交流を図ることで、より協力して支援を実施していくための土台を築くことができた。児童や児童家族が、成人のサービス事業所において芋煮大会に参加したことで、成人家族や成人支援スタッフとの交流、成人利用者との交流を図ることができた。また、ボランティアの方にも参加いただき、今後より広い関係性を築いていくきっかけづくりができた。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-----------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 食材、寿司職人費用 | 67,087 |
| 自己資金 | 9,645 | 綿菓子機レンタル | 20,412 |
| | | ザラメ糖 | 5,400 |
| | | プロパンレンタル代 | 2,570 |
| | | 容器・消耗品等 | 14,176 |
| 計 | 109,645 | 計 | 109,645 |

29 支部名： アース作業所

- ① 実施日： 平成 29年 10月 13日（水）
- ② 実施場所： 神戸方面
- ③ 対象者： 利用者 22名 職員 5名 計 27名
- ④ 実施概要： 神戸方面「日帰り旅行」の実施。日頃は限られた場所でしか過ごすことがなく、自分達でレクリエーションの計画をたてることも殆どないので、年に一度大掛かりな楽しみを体験してもらい作業所を離れた場所で、いつもと違う空気の中で一人ひとりの仲間意識を高めてもらい、許しあう心、いたわりあう心を強くしてもらい、みんな年が違い障がい内容が違っても仲良くしてもらいたいとの思いで企画を立て実施しました。

- ⑤ 成 果： 旅行後は、今まで作業所で顔をあわせていても、挨拶程度しかできなかった利用者さんが作業所以外の場所で（バスでの移動であったり）娯楽と一緒に体験することで親近感が生まれ、作業所内の雰囲気是和やかになりました。そして又、来年も行きたいから頑張ろうと意欲的に毎日過ごされるようになりました。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-----|---------|
| 助成金 | 50,000 | バス代 | 124,200 |
| 自己資金 | 216,510 | 食事代 | 75,816 |
| | | 観光費 | 46,656 |
| | | 諸経費 | 19,838 |
| 計 | 266,510 | 計 | 266,510 |

30 支 部 名： ティンカーベルファクト

- ① 実施日： 平成30年1月27日（土）
 ② 実施場所： デザインポケット、香港楼
 ③ 対象者： 利用者、保護者、職員 総数30名
 ④ 実施概要： 利用者及びご家族懇親会ツアー

（食品サンプル作り・親睦及び飲食業での接客を学ぶための昼食会）

- ⑤ 成 果： 食品サンプル作りでは、利用者の中に保護者に座っていただき、利用者の苦手な部分を手伝っていただきました。いつも話に出てくる友達が、どの人か分かった。自分の子ども以外の利用者とのふれあいが出来て良かった等の感想がありました。昼食会では、普段交流の少ない保護者同士や、保護者と職員の情報交換・意見交換が出来る良い場所になりました。就労移行の利用者は、忙しい時間帯の飲食店での動きを見ることができたので、就職した時のイメージ作りに繋がったのではないかと考えます。後日、保護者から普段出来ない話が出来て良かった。年に1回位こういう取り組みをしてほしいとの意見もいただきました。保護者会がないため、交流の機会があまり無かったのですが、今回をきっかけに保護者同士の交流が進んでいくことを望みます。助成金を頂く事で、利用者や保護者の方々にとって良い取り組みをさせていただけました。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|--------|---------|
| 助成金 | 50,000 | サンプル作り | 49,680 |
| 自己資金 | 50,380 | 昼食代 | 50,700 |
| 計 | 100,380 | 計 | 100,380 |

31 支部名： ジョブサイトよど

- ① 実施日： 平成29年12月2日(土)
- ② 実施場所： ノアフットサルステージ茨木
- ③ 対象者： 利用者、家族、職員、大阪保健医療大学教諭、学生、ガンバ大阪コーチ、ボランティア、他法人利用者と職員など 約130名
- ④ 実施概要： サッカーフェスティバルの実施
- ⑤ 成果： 大阪保健医療大学とこれまでも毎年フレンドリーアクションと言う名のもとに、重度の障がいのある人たちもサッカーを通じて体を動かし楽しむことを目的とし、大学や他法人と連携をしながら開催してきました。大学が主催して下さっていましたが、それが終了になると聞き、これまでせっかく継続して練習も自主的に行い、ご利用者の皆さんも次第にサッカーをより楽しめるようになっていたので、北摂杉の子会の9事業所からのご利用者が参加され法人で開催する運びとなりました。当日はガンバ大阪のコーチに練習と試合の審判をして頂き、チームに分かれトーナメント戦、そしてゲームが難しい方もシュートのチャンスをと PK 合戦も行いました。他法人さんにも試合に参加して頂き、親御さんは日頃観る事のないご利用者の姿を観て応援して頂きました。全員が楽しめた良い1日となりました。今後も継続して体を動かす機会やスポーツを楽しむ機会を作るため、継続して活動していきたいと思えます。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | サッカーユニホーム代金 | 136,012 |
| 自己資金 | 110,384 | 景品代 | 74,372 |
| 計 | 210,384 | 計 | 210,384 |

3.2 支 部 名： じょぶライフだいせん（就職者の会）

- ① 実施日： 平成30年2月25日（日）
- ② 実施場所： 京都（水族館、鉄道博物館、嵐山）
- ③ 対象者： 利用者、就職者、職員 総数44名
- ④ 実施概要： 日帰り旅行の実施。
- ⑤ 成果： 就職者の会が主催し、現利用者と一緒に社会見学を通して交流し、リフレッシュすると共に現利用者にとっては就労意欲を高めていただく機会になればと思い企画しました。バスの中ではレクリエーションで盛り上がり、まずは水族館と鉄道博物館のグループに分かれ見学しました。その後嵐山に移動しバイキング料理を堪能した後、竹林散策やお土産物屋さん巡りをしました。年4回就職者の会を実施していますが今回助成金をいただけたことで大型バスでの日帰り旅行が実現できました。初めて顔合わせして知り合いになる方や再会を喜び共に行動する方がいたり、全員に満足していただく企画となりました。



⑥ 収支報告：

<収入> <支出> (円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|------------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 大型バス | 108,000 |
| 自己資金 | 190,892 | 通行・駐車料 | 17,460 |
| | | 水族館・博物館入場料 | 37,320 |
| | | 昼食代（乗務員含む） | 87,696 |
| | | 旅行傷害保険 | 13,200 |
| | | 乗務員経費 | 12,960 |
| | | 旅行取扱料金 | 14,256 |

| | | | |
|---|---------|---|---------|
| 計 | 290,892 | 計 | 290,892 |
|---|---------|---|---------|

3 3 支 部 名： 第三岸和田作業所

- ① 実施日： 平成 29 年 11 月 10 日（金）、平成 30 年 2 月 23 日（金）
- ② 実施場所： 1. 和歌山マリーナシティ、2. 泉佐野、み奈美亭
- ③ 対象者： 利用者、職員 1. 36 名 2. 23 名
- ④ 実施概要： 1. 地引網体験と和歌山マリーナシティの観光（日帰り旅行）
2. 温泉旅行（日帰り旅行）
- ⑤ 成 果： 11 月の地引網体験は今まで経験したことのない体験をすることができた。網を引っ張るのは苦手な利用者もいたが、網の廻りに集まり、引き上げた魚を見たり触ったりすることができた。地元の漁師の方がその場で魚をさばいて下さり、新鮮なお刺身を食べるすることができた。新鮮な魚はおいしく、皆、満足そうに食べていた。昼食はバーベキューを行い、自分達で焼いて食べる、みんなで一緒に食べるという経験や、普段の作業のグループとは違うグループの人とも交流することができた。
マリーナシティでは他の人が乗り物に乗っているのを見て「自分も乗ってみたい」と乗り物に乗ることができた利用者もいた。日常ではなかなか経験することのできない地引網だけでなく、遊園地で遊ぶ、お土産を買うなどの機会がない利用者も多いので、良い経験になったと思われる。2 月は「ゆったりとした旅行がしたい」という利用者の希望があり、温泉と宴会を中心に行った。宴会の出し物は自分達で話し合いをして考え、役を決めて、練習を重ねて宴会で発表した。おいしい食べ物を食べ、楽しい時間を過ごし、「また仕事を頑張ろう」と思える機会になった。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-----------|---------|
| 助成金 | 100,000 | 貸し切りバス料金 | 118,800 |
| 自己資金 | 531,319 | 通行、駐車代 | 10,230 |
| | | 食事代 | 192,132 |
| | | 地引網 | 81,000 |
| | | 旅行取扱料 | 19,440 |
| | | 添乗員経費・食事代 | 17,160 |
| | | 保険代金 | 3,678 |

| | | | |
|---|---------|---------|---------|
| | | 昼食・カラオケ | 184,204 |
| | | 入浴料 | 4,675 |
| 計 | 631,319 | 計 | 631,319 |

34 支部名： 豊里学園

- ① 実施日： 平成29年6月28日（木）、平成29年9月28日（木）
平成29年11月29日（水）、平成30年3月20日（木）総数124名
- ② 実施場所： 豊里学園
- ③ 対象者： 職員、大学院生、市内支援学校教諭、他の福祉型障がい児施設職員
- ④ 実施概要： 「生と性教育研修」近年子ども達の入所理由は多様化、複雑化しています。思春期をむかえる児童も多く、職員も子どもらと向き合う上で職員自身も「科学的な性の知識」を学ぶ必要性が高まり約10年ほど前から日本福祉大学の木全和巳先生、他1名を講師として来て頂き「生と性教育研修」を実施してきました。今年度も年4回実施しました。
- ⑤ 成果： 各グループの担当職員3名が研修担当となり平日の夕方に子どもらに「生と性教育」を行います。その様子を講師の先生方に見て頂き、当日の夜に全職員対象の報告会及び振り返りの研修会を行いました。
- 研修の参加者も年々広がり、ここ数年は子ども達に通っている支援学校の先生方や他の支援学校の先生、又他の福祉型入所施設の職員、大学院生等々となっています。自施設だけでは見えない視点での意見を頂く事も多く、より研修の中身を深めることが出来ています。当研修で学んだ事を参考にしながら他施設でも実践に結びつけられるという広がりもあるようです。
- 職員の支援力の向上及び専門性を磨く上で欠かせない研修であり「人権研修」として位置付けています。子ども達も「へーそうやったんや」「みんないっしょやな」又時には「みんなと違ってもいいんや」と目を輝かせています。今後も引き続き学びを深め、子ども達と向き合っていきたいと思えます。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|-----|--------|----------|---------|
| 助成金 | 50,000 | 講師料及び交通費 | 222,736 |

| | | | |
|------|---------|----------|---------|
| 自己資金 | 172,736 | 2名、各4回 | |
| | | 27,842×8 | |
| | | | |
| 計 | 222,736 | 計 | 222,736 |

35 支部名： 草笛の家

- ① 実施日： 平成30年3月3日（土）
- ② 実施場所： 「すばるホール」 富田林市
- ③ 対象者： 地域住民、利用者等 来場者130名
- ④ 実施概要： 「第14回草笛の家作品展」の開催
- ⑤ 成果： 実施するにあたり大切にすることは、作品作りの充実と地域住民とのつながりです。作品作りでは、利用者が主体となれるよう職員が意識しながら取り組むことで、個性豊かな作品をたくさん作ることができました。会場に展示した作品を見た利用者からは、笑顔や自信にあふれた言葉を聞くことができ、達成感にもつながったのではないかと感じております。また、近隣の小学校4年生の児童と共同制作した作品もあり、製作過程では自然と言葉を交わし、助け合う姿も見られるなど、改めて地域交流の大切さを感じました。当日は、130名の来場者があり、多くの方に利用者の作品を見てもらうことができました。このことが、地域交流の輪を広げ、障がい者理解の促進につながっていけばと期待しております。この度は助成していただきありがとうございました。



⑥ 収支報告：

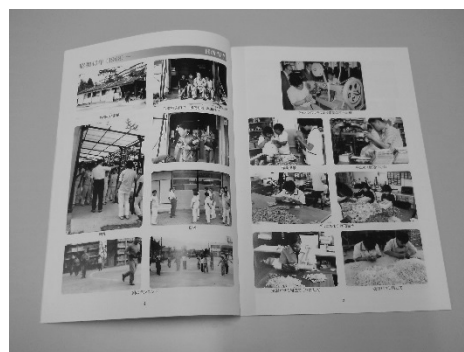
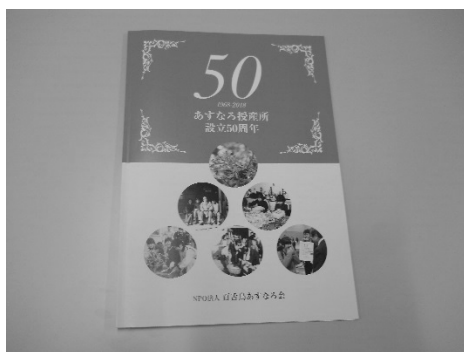
| <収入> | | <支出> | |
|------|---------|------------|--------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 助成金 | 100,000 | 展示会場代 | 32,900 |
| 自己資金 | 117,739 | 駐車場代 | 5,400 |
| | | 机、椅子、電気使用料 | 7,600 |
| | | 粗品、花、弁当代 | 41,680 |
| | | トラックレンタル代 | 10,640 |
| | | 備品、切手、はがき | 31,430 |
| | | 玄関オブジェ | 7,169 |

| | | | |
|---|---------|-----------|---------|
| | | 小学生合同製作 | 2,268 |
| | | 個人作品・ポスター | 13,607 |
| | | | |
| | | グループ製作費 | 25,871 |
| | | 作業班製作費 | 39,174 |
| 計 | 217,739 | 計 | 217,739 |

36 支部名： あすなろ授産所

- ① 実施日： 平成 30 年 3 月
- ② 実施場所： あすなろ授産所
- ③ 対象者： 授産所関係者、後援会、各関係機関等
- ④ 実施概要： 「記念誌の出版」を実施。
- ⑤ 成果： 昭和 43 年 5 月 20 日に設立され、平成 30 年 5 月 20 日で 50 年となります。昨年 4 月に 48 年間慣れ親しんだ堺市立百舌鳥支援学校の敷地から西区草部に移転しました。今年度には支援学校敷地内の建物は取り壊され運動場になることが決まっています。このたび助成していただいて製作した記念誌は、写真を多くし各方面から寄稿をいただき、長い歴史を感じることができ、関係者の方々にはなつかしく、様々なことが思い出される内容となりました。5 月 23 日に後援会である堺愛育会の総会時に配布予定です。記念誌は予算の都合上 500 冊製作しました。出来るだけ多くの関係者、関係機関に配布したいと考えています。

大阪知的障害児者生活サポート協会の助成金で実現することができました。感謝致します。



⑥ 収支報告：

<収入>

<支出>

(円)

| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
|------|---------|-------------------|---------|
| 助成金 | 50,000 | 記念誌印刷・製本代 (500 冊) | 150,000 |
| 自己資金 | 100,000 | | |
| | | | |
| 計 | 150,000 | 計 | 150,000 |

Ⅱ 資 料

- 平成29年度支部活動等助成事業実施要項
- 平成29年度支部活動等助成事業実施支部一覧
- 大阪生活サポート協会リーフレット(事業内容説明)

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会 平成29年度支部活動等助成事業の実施要項

(事業の目的)

1. この事業は、一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会(以下、大阪生活サポート協会という。)定款に則り、知的障がい児者・自閉症児者(以下障がい児者という。)とその家族の生活の安定と福祉の増進に寄与することを目的とする。

(実施の主体)

2. この事業の実施者は大阪生活サポート協会会員の所属する各支部(施設等単位)とする。

(助成対象事業)

3. 次の事業を助成する。
 - (1)障がい児者の日常生活支援に関する事業
 - (2)障がい児者の就労支援に関する事業
 - (3)障がい児者の権利擁護に関する事業
 - (4)障がい児者の文化・芸術・スポーツ、地域交流、地域貢献等の事業
 - (5)その他目的を達成するために必要な事業

(事業の実施期間)

4. 平成29年4月1日から平成30年3月31日までとする。

(助成金の範囲)

5. この要項で実施する事業の助成金は、年度ごとの予算額の範囲内とする。各支部(施設等単位)への助成は年度内1回限りとし、1支部3万円から10万円までの助成額とする。
また、大阪府下における地区ブロック単位での活動及び支部間とのネットワークによる助成対象事業に対しても、審査のうえ30万円を上限とし助成する。(予算額300万円)
※ 助成額について、加入者5人以下：5万円を上限、加入者6人以上：10万円を上限とする。
※ 2支部以上が合同で事業実施する場合は、事業内容・参加人数等を考慮し、助成額について配慮することがある。

(手続き)

6. この事業を実施希望する支部(施設等単位)は、様式1-1号・1-2号にて大阪生活サポート協会理事長あてに申請書並びに予算書を提出しなければならない。また、事業実施支部は事業終了後1ヶ月以内に様式2-1号・2-2号にて事業報告書並びに決算報告書を提出しなければならない。
ただし、平成30年3月に事業実施した場合は、4月10日までに報告書を提出しなければならない。
事業実施前、あるいは途中において内容の変更がある場合は、様式1-1号・1-2号により変更箇所を明らかにし、再度提出しなければならない。

(提出先) 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町7丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内
一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会

TEL : 06 - 6764 - 6889 FAX : 06 - 6763 - 3759

E-mail : osaka-support@helen.ocn.ne.jp

(審査/結果通知)

7. 大阪生活サポート協会に申請書が提出されたものについては、理事会で審査した後に助成の可否を申請支部に、また、助成決定支部には助成額及び事業報告書・決算報告書(様式2-1号・2-2号)等について文書にて通知する。

(助成金の支給)

8. 事業終了後1ヶ月以内に提出された事業報告書・決算報告書を理事会で審査した結果、適切な執行と認めるときは、助成額の範囲内であれば実績額を平成30年4月末までに助成する。
ただし、助成額を越える場合は、各支部(施設等単位)の自己資金で賄うものとする。
※ 事業実施に際しては、大阪生活サポート協会の助成事業であることを利用者・家族等に、また地域の施設等のネットワークを活かした事業実施の際には、関係する関係機関や団体等にも伝えるとともに、報告書に大阪生活サポート協会からの助成事業であることを明記した配布物や行事案内を添付すること。
※ なお、大阪生活サポート協会からの助成事業であることを表示しない場合は、助成しないことがある。

(申し込み締切日時)

9. この事業の平成29年度の申し込み期日は、平成29年8月20日到着分(必着)までとする。

附則 この要項は、平成29年4月1日施行

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会 支部活動等助成事業実施支部一覧

| | 法人名 | 支 部 名 | 平成29年度 | | 加入者数 | 福祉協会会員 | 平成29年度支部活動等助成事業報告（概要） |
|---|----------------------|--------------------|---------|---------|------|--------|---|
| | | | 希望金額 | 助成金額 | | | |
| 1 | (社福) 今川学園 | ワークセンター いまがわ | 100,000 | 50,000 | 4 | ○ | 平成29年8月5日、「 第14回ふれあい夏まつり 」への参加と 自主製品の販売 自分たちが作成した商品売る経験を通して、その喜びを味わい、日頃の仕事への意欲へとつなげる。販売するという仕事や楽しみの理解へとつなげることを目的に実施。地域のまつりに参加することで交流を深め、施設活動や障がい方への理解を進めていく取り組みとして参加した。 |
| 2 | (社福) 大阪 手をつなぐ育成会 | 支援センターい〜な 葉面育成園 | 100,000 | 100,000 | 47 | ○ | 平成29年8月23日、「 葉面育成園〜フアィナル・イベント 」の開催 知的障がい者の入所支援施設から平成30年度からグループホームに事業移行することになります。9月より大規模な改修工事が行われるため、例年8月に夏祭りとして実施していたイベントを、慣れ親しんだ生活環境に別れを告げ、新たな楽しい気分で新生活を迎えていただくために「葉面育成園フアィナル・イベント」として、工事着工前に実施しました。 |
| 3 | (社福) 堺あすなろ会 | ビューあすなろ | 100,000 | 100,000 | 49 | ○ | 平成29年8月25日、「 納涼祭 」の開催。 毎年恒例の納涼祭を施設敷地内で実施しました。当日はご利用者・ご家族および地域の方々に、多数参加していただきました。露店や盆踊りを楽しみ、とても良いイベントとなりました。これからも地域とのつながりや交流を深めていきたいと思っています。 |
| 4 | (社福) 草の根共生会 | さくらんぼ | 100,000 | 50,000 | 5 | | 平成29年9月21～22日、「 姫路一泊泊旅行 」の実施。 利用者が中心となり行先や内容について企画しました。一日目は姫路セントラルパーク、2日目は日本玩具博物館を見学。自分たちで計画したとおりに楽しむことが出来、充実感を持ってたようです。助成により費用面の負担の軽減が図れました。 |
| 5 | (社福) 大阪府 障害者福祉事業団 | 障害者支援施設 こんごう | 100,000 | 100,000 | 43 | ○ | ○平成29年9月16日、「 こんごうまつりの企画・実施とボランティアの受け入れを実施 」 施設利用者、利用者家族、地域の方々、施設職員、ボランティア等が一緒にになり、模擬店や舞台、演劇披露など実施。特にボランティアのサポートもあり利用者一人ひとりが楽しむことができた。 ○平成29年9月16日19～20時、「 ボランティアの学習会支援 」を実施。 6グループに分かれ、社会福祉制度や現状、障がい児者に対する理解など職員との交流、学習会を実施した。 ○平成29年9月16日～18日、「 ボランティアの障害者支援施設でのワーク支援を実施 」 上記こんごうまつり、学習会以外に施設内の清掃・草刈・日中活動のための自立課題の製作、レクリエーションの飛餅、壁面飾り、花壇作りなどを行った。 |
| 6 | (社福) 水仙福祉会 | ワークセンター豊新 | 50,000 | 50,000 | 30 | ○ | 平成29年10月8日、「 施設と地域の交流会 」を開催。 地域のお祭りに参加し、それに付随して施設開放し、バザーや野菜等の販売、利用者が職員と作った作品等の販売実施。多くの地域の方が来園、施設を知ってもらい良い機会になったと共に、バザーや作品等の販売を通じて、地域住民とコミュニケーションをとることができた。 |
| 7 | (社福) 青山会 | 第二東福 | 100,000 | 100,000 | 23 | | 平成29年9月21日、「 淡路島日帰りバスツアー 」の実施。 全員で楽しめるイベントが出来ないか本人部会で利用者さんが意見を出し合った結果、今回の企画となりました。淡路島経由で鳴門方面へ旅行しました。普段食べることの出来ない新鮮な料理をいただき、景色を眺めたり、普段では体験することが出来ないような有意義な時間を過ごすことが出来ました。 |
| 8 | (社福) 水仙福祉会 | 淡路こども園 | 100,000 | 50,000 | 5 | ○ | 平成29年9月10日、「 淡路こども園 ふれあい祭り 」の開催。 これまででは施設の利用児と家族、卒園児と家族を対象に行なっていたお祭りを「ふれあい祭り」に名称を変えし、地域の方にも楽しんでほしい、施設のことをより知ってもらう機会とした。ボランティアさんが媒介となって繋がりが増えていることを実感した。また、学生さんからは施設と地域福祉を考える足がかりになったという感想が多く寄せられ、今回のお祭りの活動目的の一つである人材育成の面でも成果があった。 |

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会 支部活動等助成事業実施支部一覧

| | 法人名 | 支部名 | 平成29年度 | | 加入者数 | 福祉協会 会員 | 平成29年度支部活動等助成事業報告(概要) |
|----|------------------------------------|---------------------------------------|---------|---------|--------|------------|---|
| | | | 希望金額 | 助成金額 | | | |
| 9 | (社福) おれんじ会 | クッキー工房 おれんじはうす | 100,000 | 50,000 | 1 | | 平成29年10月5～6日、「 利用者の一泊研修旅行(和歌山)の実施。 」毎年一回利用者間及び利用者との職員間の交流、利用者の社会参加の為に、宿泊研修を行っています。B型の事業所として日々は仕事が忙しく、仕事の連携はありますが、同じ施設の仲間としての交流の場も作りたいたいこの事業を行いました。目的としていた、利用者間の交流もとても良い感じに進み、忙しい仕事の疲れも忘れとても楽しんでいました。 |
| 10 | (社福) 北摂杉の子会 | 萩の杜 | 100,000 | 100,000 | 50 | ○ | 平成29年10月11日、「 杉の子収穫祭 」の開催。 法人が所有する杉の子農園にて今年で6回目となる「収穫祭」を開催。法人内外でお知らせをしていくことで、毎年参加者が増えている。法人施設利用者、ご家族、職員、農園周辺地区の方々が参加され、施設の中では閉鎖的になりやすく、このようなイベントを開催することで、より地域に開かれた組織になり得る貴重な機会だと思っています。 |
| 11 | (社福) ・虹のかげはし (社福) ・あさひ福祉会 | ・八尾市障害者 福祉センター ・ライフサポート おいばら | 300,000 | 200,000 | 3 8 | | 平成29年10月5～6日、「 ありのまま・あるがまま3～アール・ブリュネットの芽生え展～ 」の開催。 はじめの、支部共同開催事業として実施。八尾市在住、在勤の障がい者の作品展覧会を開催し、関連イベントとしてギャラリーートークや観覧者参加型のワークショップを行った。今回で3回目となるが、障がい者が自ら真摯に作品に取り組み、支援される側から、発表する側として活動できる場を提供することを目的に開催したが、710名余りの来場者があり、当初の目的を果たすことができた。 |
| 12 | (社福) 育 夢 | 糸をかし | 100,000 | 100,000 | 18 | | 平成29年10月7日、「 施設内改修による劇場完成に伴うイベント 」の開催。 糸をかしでは、「人形芝居ぬくぬく座」という人形劇団を結成し、6月に施設内に劇場が完成。今回、こけら落としてプロ歌手を招き、公演を行い、交流を深め、劇場の本格的始動に花を添えていただいた。今後も障がいのある人達の表現活動を知っていただき障がいへの理解を深めていただく機会を作っていきたい。 |
| 13 | (社福) 熊取ひまわり福祉会 | 熊取ひまわりの里 | 100,000 | 100,000 | 14 | ○ | 平成29年10月12日、「 遠足行事・日帰り(京都・鉄道博物館見学)の実施。 」 多機能型障がい福祉サービス事業所を運営。日常は各事業所独自の活動が多い中、年1回の遠足行事は大切な合同企画事業に位置づけ、今回も実施した。無理のない行程で一日を楽しむことが出来、利用者間の交流を図ることができた。 |
| 14 | (社福) いずみ野 福祉会 | 泉南作業所 | 100,000 | 100,000 | 35 | ○ | 平成29年9月7～8日、「 一泊旅行・淡路島・鳴門方面 」の実施。 淡路ワールドパーク ONOKORO,うずしおクルーズの実施。できるだけ利用者が主体的に参加できるように準備段階から利用者の代表をつのり、全体で楽しめる旅行にするためにはどうするかを中心におきながら進めた。1年に1度の一泊旅行で家族から離れて過ごすことで、普段なかなか見ることのできない利用者の様子や表情をみることもできた。 |
| 15 | NPO法人 だんでらいおん | こんふおーと | 30,000 | 30,000 | 22 | | 平成29年11月20日「 法人設立12周年記念ならびに生活介護事業所開設10周年記念式典 」を開催。 生活介護事業所の10周年ということもあり、大きな会場を借りて記念式典を開催しました。利用者10年在籍表彰として、手作りの表彰状の授与を行いました。緊張されていた方もおられました。嬉しそうに表彰状を受け取られていました。今回の式典を通じて、今後の方向性・将来像を確認できる機会になりました。 |
| 16 | (社福) いわき学園 | 住之江木の実園 | 100,000 | 100,000 | 7 | ○ | 平成29年11月12日、「 第31回住之江木の実園まつり 」の開催。 地元町会やボランティア、近隣の社会福祉施設など多くの協力を得て、多彩な舞台イベントやミニミニ動物園、模擬店の催し等を実施しました。多くの周辺地域の方々に足を運んでいただき、様々な障がいのある人々との交流を図ることが出来ました。また、障がい者に対する理解を深めてもらう機会になり、障がい者の社会参加・社会的自立に寄与することが出来ました。 |

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会 支部活動等助成事業実施支部一覧

| No. | 法人名 | 支部名 | 平成29年度 | | 加入者数 | 福祉協会会員 | 概要 |
|-----|-------------------------|----------------|---------|---------|------|--------|---|
| | | | 希望金額 | 助成金額 | | | |
| 17 | (社福) 大阪 手をつなぐ育成会 | 支援センターさくら | 100,000 | 100,000 | 12 | ○ | 平成29年11月30日、「さくらフェスタ2017」の開催 地域飲食店による模擬店出店、地元中学校、企業による出し物、地域障害福祉サービス事業所によるバザー 出店があり、地域との交流会の良い機会になった。約310名の来場者があり、地域住民との交流の機会として 有意義であった。 |
| 18 | (社福) 四幸舎和会 | おおざとの赤いやね | 100,000 | 100,000 | 58 | ○ | 平成29年7月～11月、「公開講座・実践報告会」の実施 法人スタッフはもろん、地域や関係機関が障がいのある方より良い支援、権利擁護、また地域貢献を目 的として法人として実施、今回で4回目となった。今回も公開講座を2回、その公開講座に沿った実践報告を 実施するという継続して学ぶという企画で実施。企画をより良いものとするため、第三者の専門分野の講師を 招き、会場は参加者が参加しやすい会場確保をおこなった。 |
| 19 | (一社) まめの木 | まめの木共同作業所 | 50,000 | 50,000 | 1 | | 平成29年11月25日、「一周年記念祝賀会」を開催。 開所し、無事1年過ぎた。地域自治会は元より近所の他法人の方々、過去につながりのあったボランティア や元保護者の方々等、懐かしい方々に参加していただき盛況に祝うことができた 利用者も歌を披露し楽しい祝賀会ができた。 |
| 20 | (社福) 産経新聞 厚生文化事業団 | 第2三恵園 | 80,000 | 80,000 | 46 | ○ | 平成29年12月1日、「支部創立記念行事」の開催。 出張回転寿司を実施。平素の集団給食では提供できない生ものを食べていただくことができ、職人さんによ る握りも楽しめることもあり、参加者全員が和やかに過ごすことができました。また、出張寿司の内容もミン チ状や刻みネタなど、高齢者向けにメニュー整備されており、外食時にはお願ひしにくい内容も対応いただき、 安心してお食事をとっていただけたものとなりました。 |
| 21 | (社福) 草の根共生会 | 蓮(れん) | 100,000 | 100,000 | 20 | | 平成29年11月18日、「第四回草の根まつり」の開催。 地域の方々との交流、親睦を図り、当施設、利用者、障がい理解を目的に実施。町会、公民館関係者、学校関 係者の方々とは、日頃よりお付き合いをさせていただいています。今回もご協力をいただき、より関係を深め ることが出来ました。今後も祭り開催を続けていくことは、地域の理解はもとより、地域との繋がりを深め、 支援の輪を広げるものだと意義を感じています。 |
| 22 | (社福) サライ福祉会 | (社福) サライ福祉会 | 50,000 | 50,000 | 1 | | 平成29年11月23日、「第23回福祉フェスティバル」を開催。 今年、このイベントを通じて、地域の活動に興味を持つきっかけになれば、との思いで、地域のお子さん や、学生のボランティアにもご協力をいただき、当日の会場運営に携わっていただきました。今後もおごる ことなく、福祉職員として「安心・安全・楽しく」を柱として、地域社会において障がいという一つのカテゴ リーを超え、同じ地域で暮らす障害者、高齢者、子供、その他全ての人が繋がりがなく同じ時間や空間を共 有し、関係を深め、よりよい地域社会の繋がりの輪を作っていくような、そんな出会のイベントとして続け ていきたいと考えています。 |
| 23 | (社福) 障友会 | わららか草部 | 100,000 | 100,000 | 30 | ○ | 平成29年11月29日、「創立15周年記念行事」の開催。 例年実施している、法人内5事業所の交流の場である「わらから祭り」という行事と併せて「創立15周年 行事」を企画。普段は会うことの少ない法人内他事業所の利用者や職員同士が、「わらから草部の創立15周 年祝い」「サックス演奏会」を通して交流を深めることができた。演奏会では、普段聞けないサックスの音色 に合わせて手拍子をしたり、演奏者の「みんなで踊ろう！」の掛け声に合わせて、思い思いに身体を動かした りと、目の前の演奏にとっても盛り上がり、「また演奏に来てほしい」「来年もしたい」との声が多く聞かれ、楽 しく、思い出になるイベントを開催することができた。 |

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会 支部活動等助成事業実施支部一覧

| 法 人 名 | 支 部 名 | 平成29年度 | | 加入者数 | 福祉協会会員 | 平成29年度支部活動等助成事業報告（概要） |
|-------------------------|-----------------|---------|---------|------|--------|--|
| | | 希望金額 | 助成金額 | | | |
| 24 (株式) 美之倉 | やすらぎの苑中津 | 50,000 | 50,000 | 1 | | 平成29年12月18日、「 <u>余暇活動</u> 」の実施。 利用者の社会訓練の一環として交通機関を使い、余暇活動と就労見学としてユニバーサルスタジオ・ジャパンの見学を実施。会場の中ではグループごとに行きたいところに行ってもらい、そこで働くひとの仕事の様子やどんな職種があるかなど、就労見学として字んでいたたきレポートに感想を記入してもらった。施設外の活動を通じて、利用者さんと職員間との交流を深めたい機会となりました。 |
| 25 (社福) いわき学園 | いわき生野学園 | 100,000 | 100,000 | 22 | ○ | 平成29年12月16日、「 <u>利用者の方の舞台芸術活動</u> 」の実施。 本園では文化活動にダンスを取り入れたり、年に1回大阪障がい者芸術・文化フェスタなどにユニバーサルで出演させていただいています。今年度から新たにダンスクラブを中心にソーラン節の練習を取り入れ日々活動しています。今までダンスの発表では、手作りで衣装を作成し出演していましたが、今回、「第11回健康リフレ大会」にて初めて衣装を揃えての発表となりました。利用者の方も達成感で満ち溢れておられるようでした。 |
| 26 (社福) 八尾すずらん福祉会 | ワーク・すずらん | 100,000 | 50,000 | 1 | ○ | 平成29年12月23日、「 <u>クリスマス&ふれあい祭り</u> 」の開催。 地域ボランティア、住民との交流会として企画しました。前半はボッチャ大会を行い、終了後は手作りの豚汁とお弁当でランチタイム。午後からは「八尾まつり屋会」のゲストによる楽器演奏・相撲甚句・手品等の盛況の出し物があり、最後は河内音頭で盛り上がりました。終了後、会場となった桂老人福祉センターが八尾市に於いて災害発生時の要援護者の福祉避難所に指定されていることから、施設内の見学を行い防災意識を高めていただきました。 |
| 27 (株) 恵み | 輪くる | 50,000 | 50,000 | 1 | | 平成29年12月22日、「 <u>カラオケ・ボーリング大会</u> 」の開催。 事前にカラオケのグループ分けをし、何を歌うかを決めたりと各々楽しみました。ボーリングでは別のグループに分かれ普段お互いに見ることのできない姿を見ることができ、あまり交流を持たない方と楽しく触れ合える機会となりました。有意義な活動ができました。仲間意識と団結力を高めるといふ当初の目的も達成することが出来ました。 |
| 28 (社福) なにわの里 | ライフサポートなこわ | 100,000 | 100,000 | 30 | ○ | 平成29年12月29日、「 <u>利用者・家族・職員交流芋煮大会</u> 」の開催。 普段なかなか交流の時間が取れない利用者家族と職員との交流を行い親睦を深めることができました。ケース担当が利用者以外の家族と交流できたことや、なかなか会う機会のない家族同士の交流を図ることで、より協力して支援を実施していくための土台を築くことができた。児童や児童家族が、成人のサービス事業所において芋煮大会に参加したこと、成人家族や成人支援スタッフとの交流、成人利用者との交流を図ることができた。 |
| 29 (NPO) アース | アース作業所 | 100,000 | 50,000 | 1 | | 平成29年10月13日、「 <u>日帰り旅行</u> 」の実施。 神戸方面に日帰り旅行を企画。今まで作業所で顔をあわせていても、挨拶程度しかできなかった利用者さんが作業所以外の場所（移動中のバスの中など）娯楽と一緒に体験することによって親近感が生まれ、作業所内の雰囲気や和やかになりました。そして又来年も行きたいから頑張ろうと意欲的に毎日過ごされるようになりました。 |
| 30 (社福) いわき学園 | ティンカーベル ファクト | 100,000 | 50,000 | 2 | ○ | 平成30年1月27日、「 <u>利用者及びご家族懇話会ツアー</u> 」の実施。 昼食会では、普段交流の少ない保護者同士や、保護者と職員の情報交換・意見交換が出来る良い場になりました。就労移行の利用者は、忙しい時間帯の飲食店での動きを見ることができたので、就職した時のイメージ作りに繋がったのではないかと考えます。後日、保護者から普段出来ない話が出来るようになってきました。年1回こういう取り組みをしてほしいとの意見もいただきました。保護者会がないため、交流の機会があまり無かったのですが、今回をきっかけに保護者同士の交流が進んでいくことを望みます。 |

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会
支部活動等助成事業実施支部一覧

| | 法人名 | 支部名 | 平成29年度 | | 加入者数 | 福祉協会 会員 | 平成29年度支部活動等助成事業報告(概要) |
|----|----------------------|-----------------------|---------|---------|------|------------|--|
| | | | 希望金額 | 助成金額 | | | |
| 31 | (社福) 北摂杉の子会 | ジョブサイトよど | 100,000 | 100,000 | 10 | ○ | 平成29年12月2日、「知的障がい者サッカーフェスティバル」の開催。 事業所として、NPO法人障がい者スポーツ Friendly Action が開催するサッカーフェスティバルに4年間参加してきたが、今年度より助成金等の関係上、障がい事業所対抗のフェスティバルがなくなりました。北摂杉の子会の9事業所の利用者や他の法人も参加し法人にて開催した。当日はカンパ大阪のコーチに練習と試合の審判をしていただき、チームに分かれトーナメント戦、そしてゲームが難しい方もシェルトのチャレンスをとPK合戦も行った。全員が楽しめた良い一日となった。 |
| 32 | (社福) 大阪府 職書者福祉事業団 | じよぶライフだいせん (就職者の会) | 100,000 | 100,000 | 51 | ○ | 平成30年2月25日、「日帰り旅行」の実施。 就職者の会が主催し、現利用者と一緒に社会見学を通じて交流し、リフレッシュすると共に現利用者にとつては就労意欲を高めていただく機会になればと思います。年4回就職者の会を実施していますが、今年度は就労意欲を高めていただく機会に合わせた日帰り旅行が実現できました。初めて顔合わせして知り合いになる方や再会を喜び一緒に行動する方がいたり、全員に満足していただいた企業となりました。 |
| 33 | (社福) いずみ野福祉会 | 第三岸和田作業所 | 100,000 | 100,000 | 40 | | 平成29年11月10日、平成30年2月23日、「利用者日帰り旅行」の実施。 11月は地引網体験と和歌山マリーナシーターの観光を実施、今まで経験したことのない地引網体験をすることができた。また昼食はバーベキューを行い、自分達で焼く、みんなで一緒に食べ、普段と違うグループの人たちとの交流を図ることができた。2月は「ゆったりとした旅行がしたい」という利用者の希望があり、温泉と宴会を中心に行った。楽しい時間を過ごし、「また仕事を頑張ろう」と思える機会になった。 |
| 34 | (社福) 大阪福祉事業財団 | 豊里学園 | 50,000 | 50,000 | 2 | ○ | 平成29年6月、9月、11月、平成30年3月、「生と性教育研修」の開催。 近年子ども達の入所理由は多様化、複雑化してきており、思春期をむかえる児童も多く、職員も子供らと向き合う上で職員自身も「科学的な性の知識」を学ぶ必要性が高まり、約10年ほど前から日本福祉大学の木全和巳先生他、1名を講師として招き、実施。今年度も4回実施しました。 |
| 35 | (社福) マイウェイ福祉会 | 草笛の家 | 100,000 | 100,000 | 47 | ○ | 平成30年3月3日、「第4回草笛の家作品展」の開催。 実施するにあたり、作品作りの充実と地域住民とのつながりを大切にしました。作品作りでは、利用者が主体となれるよう職員が意識しながら取り組む、個性豊かな作品が出来上がりました。展示した作品を見た利用者からは、笑顔や自信あふれる言葉を聞くことができ、達成感につながったと感じました。また近隣の小学校との合同製作した作品もあり。製作過程では自然と言葉と言葉を交わしたり、助け合う姿も見られ地域交流の大切さを改めて感じました。 |
| 36 | (NPO) 百舌鳥あすなろ会 | あすなろ授産所 | 100,000 | 50,000 | 1 | | 平成30年3月、「記念誌」の出版。 昭和43年5月20日に設立し、平成30年5月で50年となります。昨年4月に48年間親しんだ堺市立百舌鳥支援学校の敷地内の事業所から西区草部に移転。いつまでも皆の心にあるものを形にしておきたい、残しておきたいとの思いから今回記念誌(沿革史)を出版した。写真を多くし各方面からの寄稿もいただき、長い歴史を感じることで、関係者の方々にはなつかしく様々なことが思い出される内容となりました。助成金で出版することが出来感謝いたします。 |

沿革

施設を利用する知的障がい児者のご家族から「入院した際の費用負担が大変だ」との声があがり、医療の互助組織として「おおさか福祉互助会」が平成12(2000)年5月1日に設立されました。当時、既に全国各地では知的障がい者の医療の互助会が立ち上がっており、毎年互助会の全国大会が開催されていました。

平成18(2006)年の保険業法の改正により、互助会の存続が困難となり、平成20(2008)年3月31日で「おおさか福祉互助会」による募集を停止することになりました。


そして、新たに、平成20(2008)年4月1日、「大阪知的障害児者生活サポート協会」としてスタートし、全国知的障害児者生活サポート協会に加盟することになりました。

互助会当時の保険は、さらに充実させた「知的障がい児者・自閉症児者のための生活サポート総合補償制度」となり、加えて「知的障がい児者・自閉症児者の生活をサポートする事業（「生きること」を支援する事業）」の実施が必須となりました。

平成28(2016)年4月13日に一般社団法人化し、知的障がい児者・自閉症児者の支援をより充実させたいと新たにスタートしました。

平成30年度に設立10周年を迎えます。この機会にこれまでの当協会活動の振り返りをするとともに、皆様方のニーズに応えた事業の実施に努めてまいります。

平成30年度は設立10周年記念事業といたしまして、講演会及び記念誌の発行を予定しています。



知的障がいのある方が
「輝いて生きること」を
支援します

一般社団法人 大阪知的障害児者生活サポート協会
〒542-0012 大阪府中央区谷町7丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内

TEL 06-6764-6889 FAX 06-6770-5988

MAIL kyokai@osakasupport.or.jp

<https://www.osakasupport.or.jp/>

一般社団法人

大阪知的障害児者生活サポート協会

(大阪生活サポート協会)

知的障がい児者・自閉症児者、家族のくらしを、各種の事業と補償制度で支えます

支援に係る事業

その人らしく「生きること」を支援

- 日常生活支援 ● 就労生活支援
- 権利擁護 ● スポーツ振興
- 文化・芸術活動の支援 等

表現活動を支援しています

支部（施設・事業所等）を利用していらっしゃる方、地域で暮らしておられる方の絵画、手芸、粘土などの作品を当協会ホームページに掲載します。個性豊かな作品をお待ちしています。

支部活動等助成事業

支部・地区別ブロック活動の促進

大阪生活サポート協会に入会する支部（施設・事業所等）及び地区別ブロックが大阪生活サポート協会の目的に適った事業を実施する場合に助成しています。

平成29年度は37支部へ助成しました。

公開講座：おおさとの赤いやね



おしゃれ教室：高井田苑



大阪知的障害児者生活サポート協会は――

全国的障害児者生活サポート協会と連携し、助け合うという互助の精神を柱に、知的障がい児者・自閉症児者の皆さまをかけがえない存在として捉え、より豊かな生活が送れるよう支援しています。



「集まれグループホーム」
(平成30年2月18日)



支援者のサポート

人材育成

- 調査研究 ● 研修会の開催
- その他

補償制度

AIG 普通傷害保険

当協会にご入会いただくと補償制度をご利用いただけます。



生活サポート総合補償制度

引受保険会社：AIG 損害保険（株）
保険代理店：ジェイエイシーウエスト（株）

Mission
使命

Vision
将来像

理念

Action
行動・実践

Passion
熱き思い

事業の詳細は、当協会ホームページをご覧ください。

大阪生活サポート協会

